

済衆館病院の 理念

私たちは 健康と福祉増進のため 愛と誠意をもって努めます。

私たちは 医療技術と知識向上のため 常に自己研鑽に努めます。

私たちは 病める人々と苦しみを分かち合い 愛の杖となるよう努めます。

基本 方針

1. 高品質の医療

様々な疾患に対し、先進の診断・治療技術により、それぞれの患者様に最もふさわしい医療を提供します。

2. あらゆる病期に対応

疾病予防、救急からリハビリに至るまで、医療を必要とする全ての段階に対し適切に対応します。

3. 医療の安全性と恒常性の維持

院内体制を強化した徹底した事故防止を図るとともに、災害時を含めて地域の皆様に安心して頂けるように医療の恒常性(永続性)の維持に努めます。

4. 適切な連携

大学・他病院・診療所・介護等、様々な分野と幅広く連携し、当院の枠を超えた地域全体のトータルヘルスケアに貢献できるよう努めます。

患者さまの 権利

1. 最善の医療を受ける権利について

患者様は、適切で最良の医療を平等に受ける権利があります。

2. 自己による決定の権利について

患者様は十分な説明を受け、治療法を自らの意思で選択し、決定する権利があります。

3. 情報を知る権利について

患者様は自らの治療についての説明や情報開示を求める権利があります。

4. プライバシー保護の権利について

患者様は個人情報を守られる権利があります。

5. 人権を尊重される権利について

患者様は、人間としての誇りと尊厳を保たれる権利があります。

あなたに
寄り添い、
あなたより早い
回復を
支えていきます。



入院のご案内

患者さん、ご家族、そして、ご面会の方も
お読みください。

医療法人済衆館

済衆館病院



入院病棟を ご紹介します。



地域に根差した医療を展開し、100年以上の歴史を持つ民間病院です。
急性期病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟など、
5種類の病棟を備えています。

当院は、大正3年(1914)の創立以来、1世紀以上にわたり北名古屋・清須・豊山の地で、地域に根ざした医療を行ってきた民間病院です。「病期を問わず一貫した質の高い医療サービスの提供」を基本方針に掲げ、急性期一般病棟のほか、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟、緩和ケア病棟を備え、救急医療から在宅復帰の支援まで、疾病の段階に応じた適切、かつ切れ目のない、良質な医療・介護サービスをご提供しています。

●急性期一般病棟(本館3・4階)は、急性期入院のための専用フロアです。外科系・内科系のさまざまな疾患を早期に改善し、退院に向けた支援・援助を行っています。入院中の療養生活に対し、患者さま・ご家族の立場になって考えて行動し、笑顔と思いやりの心で苦痛と不安の軽減に努めています。

●回復期リハビリテーション病棟(東館4階)では、残存機能を最大限に活かし、可能な限りの自立をめざして支援を行っています。QOL(生活の質)の向上を視野に入れ、音楽療法やレクリエーションを取り入れた明るく元気な病棟です。

●地域包括ケア病棟(東館3階)は、急性期病棟での治療を

終えた患者さまのリハビリテーション、退院支援を目的とした病棟です。患者さまのみならず、ご家族も安心して退院できるように援助しています。

●療養病棟(東館・西館2階)は、通院するのが身体上大きな負担となる方々を受け入れている病棟です。安全・清潔で心地よい環境を整え、穏やかに療養生活を送れるように援助しています。

●緩和ケア病棟(西館4階)は、がんと診断された患者さまを対象にした専門病棟になります。患者さまの精神的、肉体的苦痛に対処するため、医師、薬剤師、がん性疼痛看護認定看護師、臨床心理士、理学療法士、ソーシャルワーカーなどによるチーム医療を行っています。

この度、入院し、治療を受けられることとなったご本人・ご家族には、大きな不安や心配をお抱えのことと思います。済衆館病院では、患者さまに安心してご療養いただけるよう、患者さまの状態に合わせた病室をご用意し、最適な医療・看護をご提供いたします。何か心配なこと、お気づきのことがございましたら、お気軽にスタッフまでお声がけください。

看護部からのメッセージ

Message

私たち看護師は、済衆館病院の精神・理念である「病める人の立場に立って行う心やさしく、きめ細かな医療と看護の提供」という言葉を胸に、質の高い看護の実践に日々努めています。そして、職業人としての誇りを持ち、おもてなしの心、ホスピタリティの精神で患者さまに接するように心

掛けています。

入院期間は、患者さまの一日も早い回復を願い、スタッフ全員でお支えしていきます。何かお気づきの点などがございましたら、遠慮なくお申し出ください。私たちスタッフは、いつもあなたのおそばにおります。

Section 1 入院が 決まったら。

各病棟スタッフステーションにご提出ください。

ご入院の方は、入院申込書・寝具類借用書・入院診療計画書を、各病棟スタッフステーションにご提出いただき、所定の手続きを行ってください。ただし、東館2階・4階にご入院の方

は、東館1階受付にご提出をお願いします。また、各申込書には押印をお願いいたします。

Section 2 入院時に ご準備いただきたいもの。

なるべく最小限にしてください。

ご入院にあたり、身の回り品をご準備ください。ただ、くれぐれも最小限のものに留めるようお願いいたします。急なご入院の場合には、本館1階の売店にてご購入いただくことが可能です。なお、不必要なもの、貴重品は、お持ちにならないでください。万が一、紛失された場合には責任を負いかねますので、お荷物の保管には充分にご注意をお願いします。また、現在服用

中のお薬についても必ずご持参ください。

■入院する際の携帯品

寝巻	箸	タオル
洗面用具	スプーン	現在服用中のお薬
湯飲み	スリッパ	

Section 3 何でもご相談いただける 窓口があります。

入院中、退院後のご心配事はありますか？

当院では、患者さまのさまざまな心配ごとをご相談いただく窓口として、地域医療科を設けています。ここでは、個人情報の保護を遵守した上で、医療と福祉の観点から、入院中の相談

はもとより、退院に向けた各種福祉制度の紹介、在宅・福祉サービスの利用調整など、患者さま一人ひとりに対応したご相談をお受けしています。ぜひお気軽にご相談ください。

■こんなことはありませんか？

- 制度(介護保険・障がい者など)は、どうすれば利用できるの？
- ケアマネジャーってどんな人？
- 退院してからの自宅での生活が不安。
- 家族の介護負担が大きくなってきたけど、どうすればいい？
- 入院生活での心配ごとについて尋ねてみたい。
- 支援してもらえる家族がおらず、この先について相談したい。
- 医療費の支払いが心配だ。

お問い合わせ先 ▶ 医療法人済衆館 済衆館病院 地域医療科 **0568-21-0811**

Section 4 安心して入院生活をお過ごしください。

より安心・快適にお過ごしいただくため、さまざまなルールを設けています。

01▶ 食事について

入院中の食事は、年齢・性別・身長・活動量・肥満度・病状に応じて、一人ひとり調整しています。配膳時間は朝食が7時30分、昼食が12時、夕食が18時です。ただし、病棟によって時間が多少ずれることがあります。なお、食堂でも飲食が可能です。



02▶ 寝具について

布団・毛布・枕・敷布類は、病室に備えています。紛失・焼失の場合は、別途弁償金をお支払いいただきます。

03▶ 携帯電話の使用について

入院生活の不自由さが少しでも軽減されるように、携帯電話の使用制限を緩和しました。個室やロビーでは通話が可能です。ただし、消灯後の通話や大声での通話をご遠慮ください。また、4人室ではメールの使用は可能ですが、他の患者さまに



充分配慮していただき、マナーモードに設定した上で、利用時間もご考慮をお願いいたします。詳しくは各病棟のスタッフステーションまでお尋ねください。

04▶ テレビ・冷蔵庫・洗濯機について

病室のテレビと冷蔵庫、本館・西館にある洗濯機は、専用のプリペイドカードをご利用いただくことができます。使用方法については、床頭台にある説明書をご参照ください。販売機はスタッフステーション前に設置されています。途中でカードが不要になった場合は、本館1階総合受付のカード精算機でご精算いただけます。

※4人室でテレビを視聴される際は、イヤホンをお使いください。



05▶ 面会について

面会時間は、月～土13時～20時、日・祝10時～20時です。本館の玄関は20時に閉まりますのでご注意ください。お時間をお守りいただいたうえで、他の患者さまの迷惑とならないようにご配慮をお願いします。

また、患者さまの治療の妨げになるような食品などの差し入れ、生花などの植物の持ち込み、病室内での大声での会話はご遠慮ください。なお、病院敷地内での喫煙、時間外の面会は固くお断りいたします。小さなお子さんのご同伴はなるべく避けていただき、やむを得ない場合は、他の患者さまのご迷惑にならないようお願いいたします。

06▶ 駐車場の利用について

ご入院期間中の駐車場のご利用は、緊急入院などの一時的な駐車を除き、ご遠慮ください。なお、一泊入院の場合に限り、第2



駐車場をご利用いただくことができます。

Section 5 お守りいただきたいことがあります。

最良の医療をご提供するため、当院から患者さま・ご家族へのお願いです。

当院では、患者さまが一日でも早く本来のご自分の体調を回復し、元気になっていただくために、スタッフ一同、患者さまと一丸となって治療に取り組んでいます。患者さまの権利については、充分なご説明の下、ご自分の意思によって適切・最良の医療を自己決定できる権利として、院内掲示や病院案内

の冊子でもご紹介しています。この権利を、他の患者さまにも平等に保証し、治療効果を高めるため、患者さま及びご家族に必ず守っていただきたい事項があります。ご協力くださいますようお願いいたします。

他の患者さまへの迷惑行為はおやめください。

- 暴力・暴言・心理的に大きな負担を与える行為、言動は行わないでください。
- 病院敷地内での器物破損行為は行わないでください。
- 患者さま同士での金銭の貸し借りをしないでください。
- 入院中は、医師・看護師の指示に必ず従ってください。従っていただけない場合、退院していただくことがございます。(例: 飲酒、ケンカ、賭け事、無断外泊、無断外出など)

安全・快適な入院生活のためスタッフの指示に従ってください。

- 各種制限のある食事・医療を受けておられる患者さまにおいては、主治医の許可する範囲内で自己管理を行ってください。
- 入院中の外出・外泊は、主治医の許可を得て、スタッフステーションに所定の届け出をしてください。
- 入浴・シャンプーをご希望される方は、必ず主治医の指示に従ってください。
- 火災、その他の災害が発生した場合は、病院の指示に従ってください。
- 退院の許可が出ましたら、速やかに病院の指示に従ってください。

お互いが心地よく過ごせるようマナーを守ってください。

- 知り得た他人の個人情報や外部に漏らさないでください。
- 敷地内でタバコを吸わないでください。
- 患者さま同士の食べ物の交換はおやめください。
- 消灯は午後9時です。お守りください。

入院期間の所持品・持ち込みは、くれぐれも必要最小限に。

- 電気製品の持ち込み・使用はできるだけご遠慮ください。
- おむつの持ち込みは原則できません。本館1階売店にてお買い求めください。
- ペットの持ち込みは禁止します。
- ベッドに備えられた敷布などは病院で交換・洗濯を行います。各自の衣類の洗濯は、各病棟の洗濯室をご利用ください。乾燥も所定の場所にてお願いします。

最良の医療を提供するため、当院からのお願いです。

- ご入院されている患者さまに、よりよい治療を受けていただくため、当院から病棟・病室をお代わりいただくようお願いすることもあります。ご協力をお願いいたします。
- 患者さまから職員へのお心遣いは固くご遠慮申し上げます。
- そのほか、病院が必要と認めた事項について遵守をお願いします。

Section 6 入院料について ご説明します。

01▶ お支払いについて

入院費用のご請求は月末締めです。ご請求書は翌月の10日に病室までお届けいたします。1週間以内に本館1階、または西館1階の自動精算コーナーにてお支払いください。退院時の会計については、退院当日にお支払いをお願いいたします。

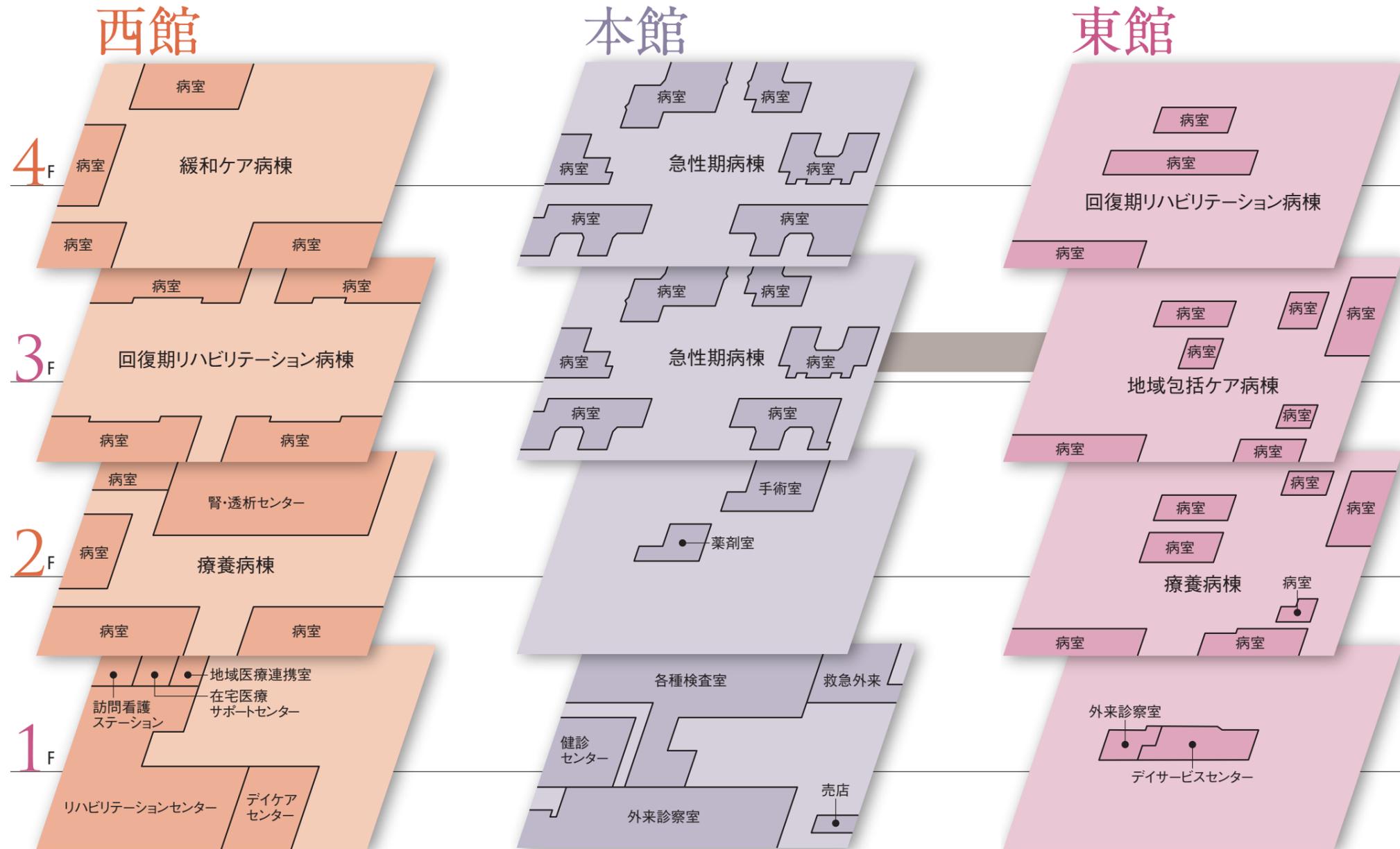
保険証については、入院時および1か月に1度、必ずご提出ください。自費診療、自賠責診療をされる方は、あらかじめ2万円の保証金をお預かりしています。なお、医療費に関して不安をお持ちの方は、地域診療科にて相談窓口を開設してします。ぜひお気軽にご利用ください。

02▶ 限度額適用認定証について

70歳未満の方が、「限度額適用認定証」を窓口でご提示いただくと、病院に支払う入院診療費(保険診療の自己負担額)が限度額までになります。認定証の発行は、ご加入の保険者への申請が必要です。認定証を提示せず、窓口で医療費を全額お支払いいただいた場合は、高額療養費支給申請書の提出により、自己負担限度額を超えた分(月単位)が払い戻されます。なお、保険適用外の診療・差額ベッド代、入院時の食事負担額などは対象になりません。

退院がきまったら

退院当日は、原則として正午までに退室していただきますようお願いいたします。退院時、本館1階または西館1階の自動精算コーナーで精算をお済ませのうえ、各病棟スタッフステーションにて退院の説明をお聞きください。



Section 7 院内のご案内。

公衆電話
本館1・3・4階
西館1階／東館2・3階

キャッシュコーナー
本館1階

売店
本館1階 9時～18時
(土・日 9時～●時)
※年末年始、ゴールデンウィークは、別途、ご確認ください
※売店の裏側に自販機があります。

カフェテラス ローゼ
本館1階

ランドリー
各病棟

会計
本館1階

相談窓口
●館●階

休日夜間入口
本館救急入口横からお入りください
(夕方5時～翌朝●時)
※西館・東館へも
ここからお入りください。

